



# あと一步の向上に向けた取組

## 函館市立凌雲中学校

生活習慣・学習習慣の形成      基礎的・基本的な知識・技能の習得      望ましい学習態度の育成      学校組織・指導体制の改善

### 1 学力向上の具体的な方策

- 数学・選択数学におけるTT、習熟度別少人数指導の実施
- 全学年数学・3年英語の放課後学習サポート、長期休業中の学習サポートの実施
- 全教職員の研究授業の実施
- 特別支援教育支援員によるきめ細かな学習指導
- 家庭学習喚起の取り組み

### 2 取組の概要

- 全学年の数学において、年間70時間（2・3年生）105時間（1年生）を目標にTT及び習熟度別少人数指導を実施し、個に応じたきめ細やかな指導に取り組んだ。
- 外部人材活用事業非常勤講師による放課後学習サポート（数学）を週4日、曜日ごとに学年を振り分けて実施し、基礎的・基本的な知識の習得と家庭での学習習慣の定着を目指した。
- 英語において特別に支援が必要な3年生 生徒に対し放課後学習サポートを実施した。
- 夏休みと冬休みに計6日間の学習サポートを実施して、基礎的・基本的な知識の習得と家庭での学習習慣の定着を図った。
- 全教職員による研究授業を実施し、地域への公開と同時に新学習指導要領に対応した指導方法について協議し、改善を図った。
- 全学年を対象に、授業中に特別な支援が必要な生徒に対し、支援員によるきめ細やかな指導を継続した。
- 各学年から「家庭学習のすすめ」を定期的に発行し、家庭での学習を喚起し、学習習慣の定着を図った。

### 3 成果（○）と課題（●）

- 全国学力学習状況調査などの結果からも、特に数学における学力が向上してきたことが確認できる。生徒の学習意欲が高まってきた。
- 学習の内容が理解できないと思っている反面、理解できるようになりたいという実態があり、わかる授業を目指してさらに改善の努力が必要である。



各教科の研究授業の様子



11月に実施した「北海道教育の日」地域公開授業



授業についての校内研修



特別支援教育支援員による学習支援